

HTML/CSS実習

06. 文書の構造化

株式会社ジードライブ

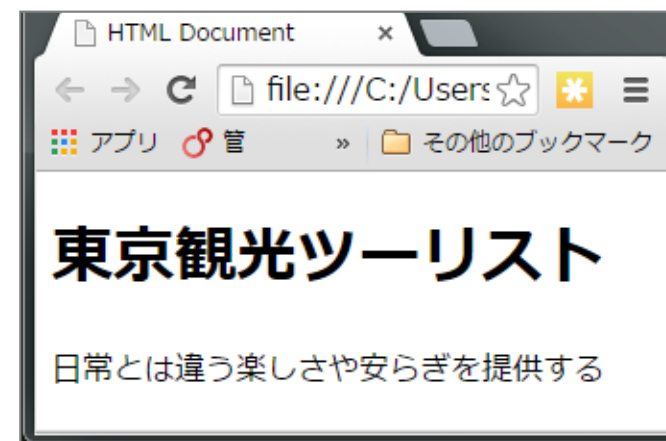
今回学ぶこと

- ヘッダ、フッタ、セクションなど文書の構造を定義するタグについて学習する
 - ヘッダ、フッタ、主要コンテンツ
 - セクショニングコンテンツ
- コンテンツモデル
- 補足：その他のHTMLタグ

文書の構造を示すタグ

- 文書の構造(ヘッダ、フッタ、セクションなど)を明確に示すため以下のようなタグが存在する
 - header, footer, main, section, article, nav, aside
- 見出し、段落、リスト等を内包する

```
<header>
  <h1>東京観光ツアーリスト</h1>
  <p>日常とは違う楽しさや安らぎを提供する</p>
</header>
<main>
  <section>
    <h2>人気の観光コース</h2>
    <p>浅草を半日かけてめぐる…</p>
  </section>
</main>
```



見た目に変化はないが、構造を正しく伝えることができる

文書の構造を示すタグの利用例



header要素

- 見出しやサブタイトル、ナビゲーションなどを内包する
- 1ページ内に何度登場してもよい
- header内にheaderやfooterを記述できない

```
<header>  
  <h1>東京観光ツアーリスト</h1>  
  <p>日常とは違う楽しさや安らぎを提供する</p>  
</header>
```

footer要素

- 著作権表記、商品取引に関する情報やプライバシーポリシーへのリンク等を格納
- 1ページ内に何度登場してもよい
- footer内にheaderやfooterを記述できない

```
<footer>
```

```
  <p>このサイトに関しては、0120-1234-5678までご連絡ください</p>
```

```
  <p>Copyright Tokyo Kanko Inc. 2020 All Rights Reserved.</p>
```

```
</footer>
```

main要素

- 文書内で中心となる主要コンテンツを表す要素
- 基本的には 1 ページ内に 1 度だけ登場する
- article, aside, nav, footer, header の中には記述できない

```
<header>
  <h1>東京観光ツアーリスト</h1>
  <p>日常とは違う楽しさや安らぎを提供する</p>
</header>
<main>
  <h2>人気の観光コース</h2>
  <p>浅草を半日かけてめぐる…</p>
</main>
```

nav要素

- ページ内の**主要な**ナビゲーションに使用する要素



- ページ上部と下部にある場合は上部のナビにのみ使用
- グローバルナビとローカルナビがある場合、それぞれに使用する

```
<nav>
<ul>
  <li><a href="about.html">東京の魅力</a></li>
  <li><a href="course.html">コース案内</a></li>
  <li><a href="price.html">料金情報</a></li>
</ul>
</nav>
```


article要素

- ページ内で**独立したコンテンツ**を表す要素
- それ自体で見出しや本文などの**自己完結**した構造で形成されていることが望ましい
- 企業サイトよりは、ブログやニュースの記事、商品情報、ユーザーのコメントなど更新頻度の高いサイトに使用されやすい

※基本的には、定期的に配信される記事(article)に対して限定的に使用すればよい

```
<article>
```

```
  <h1>大久保で見つけた美味しいお店</h1>
```

```
  <h2>本格的なネパールカレー</h2>
```

```
  <p>大久保にはネパールの方が多く住んでおり、本場の味を堪能できます！</p>
```

```
</article>
```

section要素

- 章や節といった区切りを定義する要素
- 見出しを伴って利用される

```
<h1>大久保食道</h1>
<p>大久保界隈のグルメ情報をお届けします</p>
<section>
  <h2>おすすめランチメニュー</h2>
  <p>お得で美味しいランチを厳選してピックアップ</p>
  <section>
    <h3>ネパリカレー</h3>
    <p>本格的なネパールカレーが700円で堪能できます</p>
  </section>
  <section>
    <h3>バンコク食堂</h3>
    <p>ランチ限定のパクチーラーメンが大人気</p>
  </section>
</section>
<section>
  <h2>おすすめディナーセット</h2>
  <p>大久保ではアジア各国の色々な料理が楽しめます</p>
</section>
```

articleとsection

- articleとsectionは互いの要素を内包することができる

articleがsectionを内包する例

```
<article>
  <h1>大久保で見つけた美味しいお店</h1>
  <section>
    <h2>大久保ってどんな場所？</h2>
    <p>アジアの香りが漂う多国籍な街です。</p>
  </section>
  <section>
    <h2>本格的なネパールカレー</h2>
    <p>大久保にはネパールの方が多く住んでおり、
    お店も豊富。なかでも「ネパリカリー」では、
    本場の味を700円で堪能できます！</p>
  </section>
</article>
```

sectionがarticleを内包する例

```
<h1>大久保オンラインニュース</h1>
<section>
  <h2>最新のトピック</h2>
  <p>たった今入ってきたニュースをお届け</p>
  <article>
    <h3>久保高サッカー部全国出場</h3>
    <p>10日に行われた地区予選決勝。久保高は
    3-0で勝利、全国大会出場を決めた。</p>
  </article>
  <article>
    <h3>ヤギ逃走中</h3>
    <p>本日、お昼頃、久保小学校で飼育されている
    ヤギが脱走。いまだ発見されず。</p>
  </article>
</section>
```

aside要素

- 補足や脚注など、メインコンテンツから切り離すことができる要素
- 補足や脚注以外にも、広告バナーやブログ記事のカテゴリーなど**サイドバー**に配置される要素に用いられることが多い

```
<h1>大久保オンラインニュース</h1>
<section>
  <h2>最新のトピック</h2>
  <p>たった今入ってきたニュースをお届け</p>
  <article>
    <h3>久保高サッカー部全国出場</h3>
    <p>10日に行われた地区予選決勝。久保高は3-0で勝利、全国大会出場を決めた。</p>
  </article>
</section>
<aside>
  <h2>話題のニュースランキング</h2>
  <ol>
    <li>久保小のヤギ、無事に発見・保護</li>
    <li>第1回大久保ハーフマラソン、開催決定</li>
    <li>ネパリカレー、リニューアルオープン</li>
  </ol>
</aside>
```

コンテンツモデル

- 各要素の分類を示すカテゴリー

- フロー、ヘッディング、セクショニング、フレージング、エンベディッド、インタラクティブ、メタデータの7つのカテゴリーが存在する
- 各要素は1つ以上のカテゴリーに属している
 - ⇒ h1～h6要素: フロー、ヘッディングコンテンツ
 - p要素: フローコンテンツ
 - a要素: フレージング、インタラクティブコンテンツ
- 要素ごとに内包できるカテゴリーが定められている
 - ⇒ h1～h6要素: フレージングコンテンツを内包できる
 - article要素: フローコンテンツを内包できる

<h1>

<p>こんにちは</p>

<a>リンク

</h1>

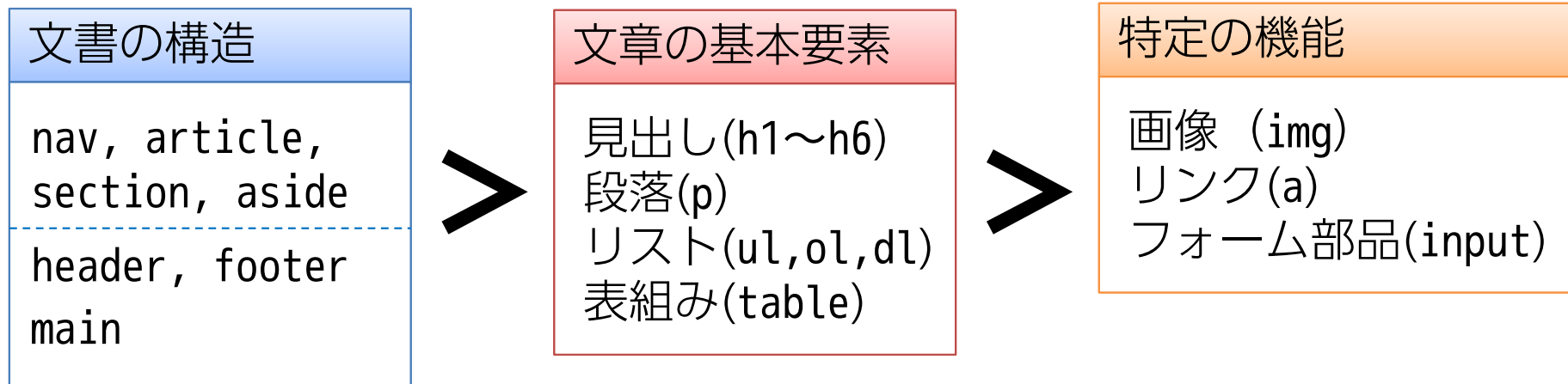
p要素はフローコンテンツなので内包できない

a要素はフレージングコンテンツなので内包できる

表示はされるが、コンテンツモデルに基づく記述ではないので、サイトの評価が下がる原因となる

簡易的な分類

- コンテンツモデルをすべて覚えるのは大変なので、大まかに以下の分類で覚えておけばよい



文書の構造は**文章の基本要素**を内包でき、
基本要素は**特定の機能**を持つ**要素**を内包できる

練習

- 練習06-1

補足: その他のHTMLタグ

HTMLタグのリファレンス

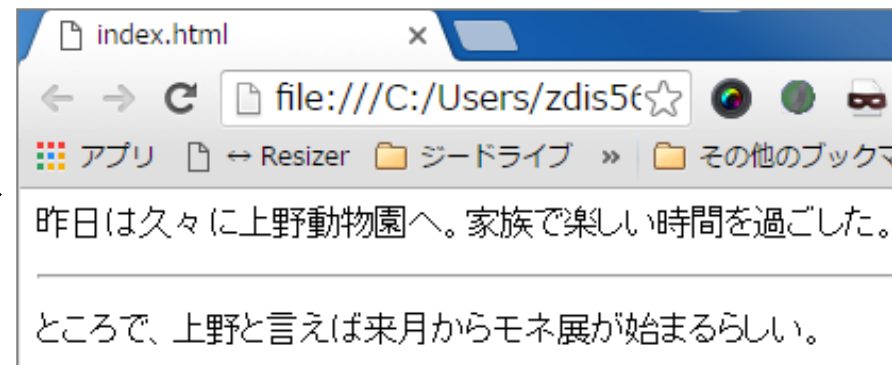
HTMLタグについてのドキュメント（一覧や説明）

- MDN
 - <https://developer.mozilla.org/ja/docs/Web/HTML/Element>
- Tag Index
 - <https://www.tagindex.com/>

区切り

- 区切り線を引くためのタグとして、<hr>が存在する
 - Horizontal Rule(水平方向の罫線)の略
- 空要素タグ (終了タグをもたない)
- セクション内での話題の区切りに用いる

```
<body>  
<p>昨日は久々に上野動物園へ。  
家族で楽しい時間を過ごした。</p>  
<hr>  
<p>ところで、上野と言えば来月からモ  
ネ展が始まるらしい。</p>  
</body>
```



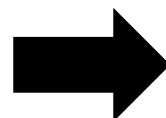
整形済みテキスト / ソースコード

- **pre**タグで囲むことで、整形済みのテキスト(タブや改行等が入ったテキスト)を、そのまま表示できる
- **code**はソースコードを記述する際に使用する

```
<pre><code>int score = 75;
```

```
String msg;  
if(score >= 60) {  
    msg = "合格です";  
} else {  
    msg = "不合格です";  
}
```

```
System.out.println(msg);  
</code></pre>
```



```
int score = 75;  
  
String msg;  
if(score >= 60) {  
    msg = "合格です";  
} else {  
    msg = "不合格です";  
}  
  
System.out.println(msg);
```

ふりがな(ルビ)

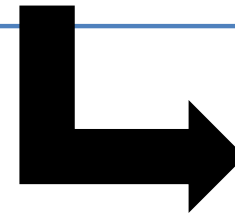
- **ruby, rp, rt** 組み合わせることで、漢字などのルビをふることができる
 - ルビに対応していないブラウザでは、rp要素が表示される

<ruby>

武者小路 **<rp>(</rp><rt>むしゃのこうじ</rt><rp>)</rp>**

実篤 **<rp>(</rp><rt>さねあつ</rt><rp>)</rp>**

</ruby>



むしゃのこうじさねあつ
武者小路実篤

動画・音声

- 動画用にvideoタグが、音声用にaudioタグが用意されている
 - controls属性で、再生や一時停止等の制御コントローラーを表示させることができる
 - source属性で、読み込む動画や音声ファイルを指定するが、ブラウザごと、対応している動画や音声の種類が異なるので、複数の形式を用意する必要がある

video要素の記述例

```
<video controls>  
  <source src="media/birthdayMsg.mp4" type="video/mp4">  
  <source src="media/birthdayMsg.webm" type="video/webm">  
</video>
```